

**2. 【研究計画】別添**

研究経費とその必要性

特別研究員奨励費（特別研究員）

研究経費のどの年度においても研究経費の額は最低10万円以上にしてください。  
 （金額単位：千円）

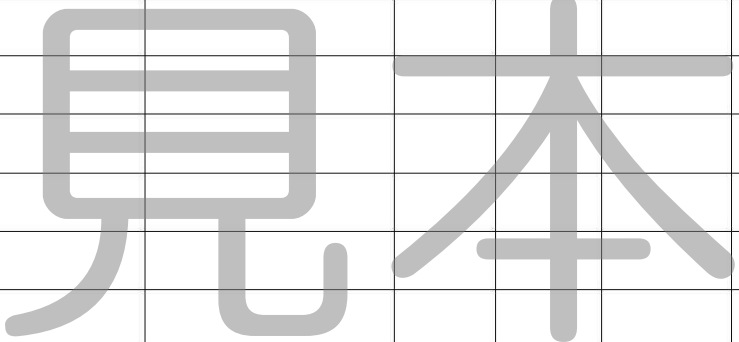
応募区分

実験系（DC）を想定して下記の表の記入例を作成しています。

配分は10万円単位で行う予定です。原則切り下げとなるため、1万円以下の単位で計上しているものについて、修正をするか本人に確認が必要です。  
 （例：年間の上限が100万円の応募区分で、令和6年度を88万円と計上していた。この場合、おそらく80万円の配分となってまうため、90万円または100万円を記載することをお勧めしています。  
 各経費の金額は千円単位で入力し（例：10万円ならば100千円）、千円未満の端数は切り捨ててください。  
 金額は、応募区分で指定された額となっているか確認して下さい。

研究経費 〔千円未満の端数は切り捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				その他
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	
	令和6年度	1000	500	200	100	0	200
	令和7年度	1000	0	500	300	0	200
	令和8年度	1000	0	400	400	0	200
	総計	0	0	0	0	0	0

年度	設備備品費の明細					消耗品費の明細	
	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額	事項	金額



設備備品費、消耗品費の必要性



研究者氏名				
資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和6年度の研究経費（期間全体の額）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等（左記の研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職）（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
			<p>100<sup>0</sup> (30Q)</p> <p>令和6年度の研究経費</p> <p>令和6年度から8年度までの研究経費の合計</p> <p>(千円)</p>	
			(千円)	<p>例：</p> <p>応募中の研究課題と本応募研究課題とは、想定しているが大きく異なる。応募中の研究課題ではにおいて、を解き明かすことを目指す。両研究はを明らかにする上で相補的な議論に発展する可能性がある。（東京大学・特任研究員）</p>
			(千円)	<p>応募又は受け入れるにあたっての所属機関と役職を必ず記入する必要がある。</p>
			(千円)	
			(千円)	

見本

(2) 受入予定の研究費

特別研究員奨励費（特別研究員）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和6年度の研究経費（期間全体の額）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等（左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職）（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
			(千円)	
			(千円)	
			(千円)	
			(千円)	
			(千円)	

見本